

【会議録】
(名前非表示)

件 名	令和6年度第1回春光台公園運営協議会		
日 時	令和7年1月14日（火） 18：00～19：30	場 所	春光台公民館 2階講堂
出席者	【参加者】8名 大島功三，関戸大地，中村洋一，小原陽一，横山孝，上森茂，林綾子，宮本千穂 【事務局】6名 公園みどり課 星課長，和田主幹，藤田補佐，白瀬係長，吉田主査，鹿島		
欠席者	【参加者】 1名 福屋聖恵		
資 料	・議事次第 ・資料1「春光台公園園路視察会の開催報告と考え方の整理について」 ・資料2「公園内遊具の改修について」		
《概要》 次第1 開会 「開会」 （進 行：事務局） 本日はお忙しい中，会議にご出席いただきましてありがとうございます。 それではこれから協議会を始めさせていただきます。 最初に本日使用する資料の確認をさせていただきます。 本日の次第、参加者名簿，説明資料として，資料1「春光台公園園路視察会報告書」及び資料2「公園内遊具の改修について」，以上の資料をお配りしておりますが，皆様お手元にありますでしょうか。 次第2 参加者紹介 （進 行：事務局） それではお配りしました次第にもとづきまして進めさせていただきますが，その前に本年度から本協議会に参加されることになりました方を御紹介いたします。 まず，これまで本協議会の進行役を務めていただきました，A2様が海外に出張されることとなりましたことから，後任として，A様に参加していただくこととなりました。 大島様，簡単に自己紹介をお願いします。 （挨拶：A） Aと申します。A2に替わりまして後任として努めていきたいと思っておりますので，どうぞよろしくお願いいたします （進 行：事務局） 続きましてB2様に替わりまして，参加していただくことになりましたB様でございます。 （挨拶：B） Bです。よろしくお願いします。去年の7月には春光台公園園路の視察に参加しましたが，会議への参加は初めてとなりますが，よろしくお願いします。 （進 行：事務局） ありがとうございました。 A様，B様，どうぞよろしくお願いいたします。 次第3 挨拶 「課長挨拶」 （進 行：事務局） それでは，本協議会開催に際しまして，公園みどり課長の星より御挨拶申し上げます。			

(課長挨拶：事務局)

みなさん、こんにちは。公園みどり課の星です。

本日はお忙しい中、本協議会にご出席いただきましてありがとうございます。

協議会としては令和6年度第1回となりますが、昨年7月に参加者の皆様にお集まりいただき、話題となっている園路の視察会を実施したところです。

また、先ほど紹介がありましたが、今年度より、2名の参加者の方が交代されています。A様、B様、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の協議会では、視察会から間が空いてしまいましたが、その内容について改めて報告し、園路整備に関する今後の考え方について示した上で、皆様から意見をいただきたいと思います。

また、もう一点、遊具の改修についても議題に挙げています。遊具整備案はすでに決定していますが、その後の経過について、若干説明させていただきたいと思います。

協議会は1時半程度を予定しております。限られた時間となりますが、皆様には活発な意見交換をお願いできればと思います。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

次第4 春光台公園園路視察会の開催報告と考え方の整理について

(議事引継：事務局)

星課長、ありがとうございました。

それではお配りしました次第に沿って進めさせていただきますが、議事進行につきましては、本協議会の前回まで進行役であったA2様の後任となります、A様をお願いしたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。

それではA様、どうぞよろしくお願いいたします。

(進行：A)

それでは、次第に従いまして進めて参ります。

次第4「春光台公園園路視察会の開催報告と考え方の整理について」ですが、この若山牧水歌碑裏手にある園路の整備については、昨年から議題として取り上げているもので、昨年1月の協議会で、参加者の皆さんで園路の現状について共通認識を持つことを目的に昨年の7月2日に視察会を開催した経過があります。

今回はこれまでの意見交換や、視察会の結果等をもとに、市の考え方を整理したとのことですので、それを聞いて、参加者のみなさんから園路整備について意見をいただきたいと思います。

それではまず、園路視察会の開催報告と考え方の整理について、事務局から説明をお願いします。

(説明：事務局)

それでは、次第4「春光台公園園路視察会の開催報告と考え方の整理について」説明させていただきますので、お手元の資料1を御覧ください。

【説明内容】

○過去3回の協議会の中で意見交換をしてきた春光台公園内の若山牧水歌碑裏手から新道(国道12号線)沿い擁壁上歩道に繋がる園路整備の検討について、協議会参加者が園路の現状を把握するため、令和6年7月2日に視察会を開催した旨報告。

○視察会の結果は、「園路が狭い。」、「雨に弱く路盤が緩いため凹凸が目立つ。」、「斜面部分は雨の影響で木の根の露出したり、土砂崩れしている箇所が散見される。」等、危険箇所が多く安全確保のため斜面の補強、雨水排水用の側溝や転落防止用手摺の設置等、長い時間と多額の経費が必要である。

○交通量の多い新道の擁壁上に園路の出入口があるため、のアクセスが不便で危険。

○視察会直後は、眺望などが楽しめる散策路として整備して欲しいという意見がある一方で、園路の安全確保が困難であることを懸念する意見が多数。

○市としては、安全確保の困難さ、人工物の設置を原則しないこととする「自然保全エリア」内における工事実施可否の判断、園路の利活用及び利用促進等に多くの課題があるため、現段階で園路を整備することは困難であるとの考えを示した。

以上で、説明とさせていただきます。

(進行：A)

ありがとうございました。

事務局から次第4に関する報告と説明があり、視察会を開催した結果、園路の現状を踏まえると、整備は困難であるとの考えが示されました。

これまで、文化振興等の面から園路を整備してほしいとの御意見がありましたが、園路の整備には多くの課題があることも、事務局の説明から分かりました。

ただし、通行禁止とは言え、園路自体は現状として残ることから、市民参加型の視察会を行う等して、経過観察会をしていきたいという説明内容になりますが、今の説明について、皆さんから感想や御意見を伺いたいと思います。

(参加者：C)

ミズバショウの会で20年ぐらい保全活動をやってきて、2001年の春光台懇話会でも現状を保全していくのがよいという方針が示されたので、現状を維持して欲しいというのが意見です。

(参加者：D)

去年の7月の視察会は、行事等が重なり不参加という形になりました。

報告と説明を聞いて、整備費用等の難しい面があるというのは理解できます。

しかし、土砂崩れ等の災害が起きる可能性もあるとのことなので、自然を守るために現状維持をすることも大事ですが、定期的に市に見てもらって、危険であれば必要な対策は取ってほしいと考えます。

併せて、市民との情報共有も図りつつ話し合いをしてほしいと思います。

(参加者：E)

Eです。夏の視察会に参加してみて、公園管理者からすると現在のままの状態の利用者に園路を開放するというのは難しいと思っています。

やはり歩かせるのであれば、きちんと整備をする必要があると思います。

(参加者：F)

Fと申します。視察会には行けなかったのですが、話を聞いて現状を鑑みると、なかなか一筋縄ではいかないというか、すぐに何か取り組めるような状況ではないのかなとは思いました。

提案の通り、市と市民が経過観察をして、時間かけてゆっくり見ていけたら、また新しいアイデアが出てきたりするのではと思いました。

(参加者：B)

7月の視察会で初めて春光台公園の存在を知った。普段から春光台に行くことがないので、現状がよくわからなかった。

普通歩くようなところでもないのに、市が経過を見守っていただくしかないという考えです。

(参加者：G)

Gです。視察会は諸用につき欠席しておりますが、説明のとおり公園内の危険なところがあるが、市の考えとしては園路自体は廃止せず現状維持で推移を見守っていきたいということだということは理解しました。

大規模な補修等ができない状況で、案の1つとして挙げられていた市民参加型の視察会等を安全対策をしっかりとった上で実施したいということであれば、最低限必要な園路の具体的な管理方法等、市で道筋を作っていただき、それを示してほしいと思います。

(参加者：H)

前回の見学を通して、課題が明確になったと思います。

現在、園路が荒廃したのは、これまで手入れをしてきていないことに加え、新道ができたことで、春光地区の方々が園路を使用できなくなったことにあると思います。

それに加えて整備もされずいる状況で、10年前に見たときから比べると、やはり土砂崩れが進んでおり、早急に斜面の補強などをしなければ、大きな災害が起きる可能性もありますし、ある程度のお金はかけるべきだと思います。

また、近隣の住民の方々が頻繁に公園を利用できるようにするため、この園路を整備していただきたい。

他には、園路の折り返しの地点が狭くなっているということでしたが、元々は5m以上の幅があるはずで、笹の繁茂等によって狭く感じたかもしれませんが、実際は5m以上の幅は

あったと思います。

加えて、新道擁壁の部分ですが、あそこは狭く感じますが、繁茂している笹を刈り取れば、作業用の重機は入れると思います。

更に、新道擁壁上の歩道の入口付近は駐車できるスペースとして使用できるし、国道の管理者に確認したら、駐車してもよいと言われてたので、市との認識に多少の違いがあると感じました。

いずれにしても、ある程度お金をかけるのであれば、園路として使えるような整備ができないかというのが自分の問題意識です。

(進行：A)

ありがとうございます。事務局の方から何か補足説明ございますでしょうか。

(説明：事務局)

ただ今、皆さんから貴重なご意見いただきました。

実際、昨年の視察会に参加されて、それを見た上でのご意見ですので、非常に参考になるところです。

今お話にもありましたように、現状としては人を安全に通すこと難しいという課題を認識した上で、安全に通すためにはどこまでの整備が必要かという話になりますが、先ほど説明させていただいたとおり、困難な状況であるというのが結論としてはあります。

ただ、一方で地域の意見としても、元々あった園路がいい形で通れるようになるのであれば通れるようにしてほしいという意見がありました。

また、安全対策の整備が必要ではないかという御意見についてですが、この場で具体的な取組を断言できませんが、どのように園路を保存していくのか、今お話ししたように、この後の経過を市民の皆さんと見守りながら、より広く意見等を集めて、園路のふさわしいあり方を検討するのが、当方の現段階の考え方になります。

(進行：A)

ありがとうございます。他に皆様の方から何か

(参加者：C)

事務局から春光台公園懇話会の方針や自然保全エリア等の話も含めて説明がありました。春光台の住民も含めて、公園の利用者がどれぐらいの頻度で園路を通ろうとしているのか、整備されればそこに行くのか、整備が必要不可欠かは疑問に思います。

これまで、先人が市と協議して「緑と人の共生の森」として定め、市だけでは緑を保全できないので我々も手伝って貴重な動植物を守ってきて経過もあります。

また、園路の出入口の隣に、すでに春光台に通じる園路が2本あるのにもかかわらず、アクセスの悪い園路をわざわざ多額の費用をかけて整備することの必要性を感じないし、貴重な緑を守るという春光台公園懇話会の一致した考えを尊重するという市の考え方と、園路の整備を実施するというのは整合性がとれないと思います。

次第5 公園内遊具の改修について

(進行：A)

ありがとうございます。他に何かご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。それでは次第4の議題は以上とします。

続いて、次第5の「公園内遊具の改修について」です。事務局から説明をお願いします。

(説明：事務局)

【説明内容】

○過去3回の協議会の中で意見交換をしてきた経過説明

- ・議題は老朽化により全面使用禁止となった宝くじ遊具の更新内容
- ・協議会での意見交換と並行して、近隣の小学校や幼稚園などに対してアンケートを行い、広く意見を徴集。
- ・更新遊具の最終案が確定してHPに公表している

○市としての考え方の説明

- ・遊具部材の老朽化が進行し、部材の多くを新材に入れ替える必要があるなど多額の費用がかかる大規模改修が必要になる。
- ・現在の遊具の安全基準に合致していない部分がある。

- ・安全性の確保や改修コストなどに課題があることから、全て更新する。
- ・現在、市議会等で「既存施設を生かしながら安価に活用する手法の検討」について質疑・意見が出ているが、安全面と今後の維持管理コストを考慮し、宝くじ遊具は全面改修が適切と考えている。
- ・整備の予定は令和7年度に撤去工事、令和8年度新遊具設置工事を想定。

(進行：A)

ありがとうございます。ただいま事務局から説明がございました。

本協議会で遊具のデザインなどについては、様々な提案をしていただき、皆さんのご意見も参考にして改修案をすでに決定したところですが、違った意見も出てきているということでした。

これまで意見交換を行ってきた参加者の皆様から、何か御意見はありますか。

(参加者：C)

市の説明の通りだと思うが、この協議会は、宝くじ遊具の改修をどのようにするかということがメインの議題だったと認識しています。

しかし、当初から遊具撤去が前提で話が始まったので、その時はあまり意識していなかったのですが、今の木製遊具は素晴らしくて好きです。

あれだけ素晴らしいのは、全国的にもそうないと思いますので、撤去することが当たり前ということが前提だと思いますが、修復していくらかかるのか、そもそも修復できないのか、その辺を全然議論してない。

市の方はもう撤去するしかないという見解を示しているが、調べによると、遊具を作った神戸大学の教授は全国的に有名な方らしいです。

また、東海大学の先生の調査結果の資料をいただいたんですけども、すごく細かく詳しく調査しており、この調査結果と市の見解にはずれがあると思います。

私は、もし宝くじ遊具を2・3千万円で修復できるのであれば、1億2千万かけて新しくするよりは、よいと思います。

(参加者：D)

多分私も同じ東海大の教授の資料をいただいるし、1年ほど前から既存の遊具を活用して使い続けるという意見があると聞いている。

ただし、事務局から最終段階と説明があったのですが、協議会のスタート段階から、既存施設の活用という選択肢がなかったと記憶していますので、時間かけて最終的にどっちがいいのか、来年解体という話もありましたけど、少しここで立ち止まってもいいのではないかなというのが、ここ2、3日の私の感想です。

(参加者：E)

自分が春光台公園に着任する時は、撤去というのが頭にあったのですが、遊具の上の方が残して使えるのであれば、既存遊具の修復・活用という選択肢はありかなと思います。

ただし、個人的には真新しい遊具は子ども達も喜ぶとは思いますが。

また、使えない状態が続いて子ども達ががっかりするのもよくないと思います。

(参加者：F)

新しい遊具もすごく魅力的だと思います。

どちらか選べるのであれば、個人的には今までの遊具に愛着がありますが、何を差し置いても安全第一だと思うので、専門家の方が見て安全な方にしてほしいし、新しい遊具の方が長く使えそうではあり、最新の安全基準に則ったものであるから、新しい方が安全性が高いということであれば、安全第一で選んでいただけたらなと思います。

(参加者：B)

木に関してですが、家のリフォームとは訳が違い、子供が使う遊具なので、古いものを残すためとは言え、新材に総入れ替えもしくは、一部の部材の入れ替えをする、腐蝕部分の交換する等、以前と同じ材料を手配するには、世界中で木材の高騰している昨今、有名な方がデザインした遊具だから残さなきゃいけないという理由はどうかと思う。

また、木材遊具を維持するためにお金は必ずかかし、見た目ではわからない小さな穴からでも腐蝕はすると思われ、長い目で見ればやはり新しい遊具にすべきだと思います。

加えて、せっかくアンケートに答えてくれた子供たちの意見を無視してしまうのかなと、デザインが有名な方だから、旭川では珍しいから絶対残さなくてははいけないというのは大人の意見であって、やはり使っていただくのは子供ですそこでそこを配慮していただきたい。

(参 加 者：G)

この会議の1番スタートのところで、遊具についてはもう使えないから新しくするところからスタートしたような気がします。

ですから、私も木製遊具の交換はもうできず、更新が必要ということであれば、どうしたらよいかという視点で始まったような気がしていました。

私も資料をもらいましたけど、このような話題はもっと前から出てこなかったのかと思います。

話がほぼ最終段階になって、今回のような話が出ると、これまでの議論を1回ご破算にすることになるし、我々市民の出番ではなく政策的な話ではないかという感じがしました。

(参 加 者：H)

当初旭川市が宝くじ遊具の整備に当たったの調査結果、それに基づいて、これまで話をしてきたのですが、この東海大学の詳細な分析結果が検討する価値があるものなら、改めて議論する場を設けてもいいのではないかなと思います。

ただし、この東海大学の分析結果についての意見を求められても困るところではありますので、事務局の方でぜひ整理されて後に、問題を提起をしていただければと思います。

ただ、忘れてはいけないのは、やはりBさんが言われたように、実際に使う子供たちの目線とか、親御さんの思い等を汲み取っていただきながら、検討していくことが大事だと思います。

最後に、令和7年4月までが私たちの任期ですので、この件について議論する時間もありませんので、任期を延長するなど措置が可能なのか、その部分についても触れて、お答えいただけるとありがたいです。

(進 行：A)

ありがとうございます。

皆様のご意見を踏まえまして、事務局から何かがあればお願いします。

(説 明：事務局)

ただ今、参加者の皆様から遊具改修について、大変参考になる意見をいただきました。

現段階では、予算措置・予算要望も含めて来年と再来年度で事業を実施するよう動いているところです。

今、お話があったように、安全第一で新しい遊具に置き換えるという意見も1つの考え方ではあるが、現在の古い木製遊具を部材の交換で安全が確保され、経費も、節減できるのであれば、それを再考する必要もあるのではないかなというのが皆さんからのご意見だったと認識しております。

確かに、ここから先の話は専門的なお話になってきますので、本協議会でそれを話をするのではなく、再検討をするとなった場合は、専門家から意見を聞く、何かしら調査を行う等が考えられると感じております。

いずれにしても、現時点では来年度に向けた事業内容を検討している中で、本件の今後について詳細を申し上げられないのですが、皆さんの意見は参考に今後の対応について考えていきたいと考えております。

また、H様からいただきました来年度以降の話については、この後その他のところでお話したいと思いますので、よろしくお願いします。

次第6 その他

(進 行：A)

ありがとうございます。他に何かご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。それでは次第5の議題は以上とします。

続いて、次第6の「その他」についてですが、何か皆様の方から監査についてご意見ございますでしょうか。

(参 加 者：H)

春光台公園そのものについての意見ですが、私は、春光台で生まれ育って、長年春光台に住んでいますが、子供の頃はここら一帯が、豊かな自然に恵まれていたと思います。

そして、長年住んでいて、春光台公園の公園の新たな魅力を知る機会に恵まれて思うことは、この魅力を市民の皆さんに知ってもらえないかということです。

具体的には、文学的な遺産が点在していたり、大雪連峰の美しい眺望が望める場所があったり、縄文時代の遺跡があったり、三浦綾子の文学の世界を偲ばせる場所があったりと、このような魅力を掘り起こして、地域の方や市民の皆さんに親しんでもらうことは、公園のあり方としてとても大事じゃないかなと思っております。

未来の子どもたちのために、様々な史跡を残していくというのは、大切なことではないかなと感じているところです。

そういった意味で、記念碑や文学碑の設置に関するルールがあるのは承知しているが、碑文等は本来あるべき場所に設置することをお願いしたいと思います。

最後に事務局にお聞きしたいんですけど、ミズバショウの群生地の水源はどのように確保されているのか、教えていただきたい。

(進行：A)

事務局お願いします。

(説明：事務局)

水については、地下水を汲み上げています。

(参加者：H)

その地下水を汲み上げてる場所はどこですか。

(説明：事務局)

北側の駐車場のところにトイレが整備されるところがありますが、少し園内に入ったところから汲み上げています。

(参加者：H)

それはモーターで汲み上げているのですか。枯渇したことはないのですか。こう仕上げているのですか。

(説明：事務局)

ポンプで汲み上げています。

元々は自然の沢だったところでしたが、枯れてしまったので、モーターで地下水を汲み上げる形にしております。

(進行：A)

他に皆さんの方からご意見等ありますか。

なければ、事務局から本協会の今後について説明があるということですので、説明の方をお願いいたします。

(説明：事務局)

本協議会につきましては、令和5年度から開催しまして、昨年7月に行いました現地視察会も含めると、現在5回ほど開催した形になっております。

主に公園内の宝くじ遊具の改修や、旭川新道へ続く園路の整備についての意見交換を行っていったところです。

これまでいただいた、様々なご意見を参考に公園みどり課の方で整備の方を進めていきたいと考えておりますので、令和5年度から2カ年の期間における本協議会については、一区切りということで考えているところでございます。

ただし、先ほど御意見がありました通り、新たな問題提起について、議論が必要である場合は、令和7年度5月以降についても、協議会を継続させていただきたいと存じます。

また、本協議会の参加期間は2年間ですが、再任は妨げないことから、協議会が継続する場合、皆様に再度の参加をお願いする場合がありますので、その際にはぜひご参加いただきたいと存じます。以上でございます。

(進行：A)

ありがとうございます。

事務局から協議会の今後について説明がございましたが、他に、何か質問などはございませんでしょうか。

(参加者：C)

問題提起がある度に開催すると終わらなくなるので、先ほど事務局が今回で一区切りと言っているのだから、今回で終了と言うことでお願いします。

(進行：A)

ありがとうございます。他に何かご意見ありますでしょうか。

それでは、次第6については以上といたします。
全体通して何か他にご意見等ございますでしょうか。
なければ、本日予定の議題についての意見交換は以上となりましたので、事務局にお返し
したいと思います。

次第7 閉会

(説明：事務局)

A様、ありがとうございました。
今回の議事録につきましては、2月中旬までに市のホームページにて公表する予定です。
また、本日の参加報償費につきましては、同時期に指定された口座にてお支払いいたします
ので、各口座を確認願います。
本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。
これを持ちまして春光台公園運営協議会を終了いたします。
参加者の皆様、長期間にわたる会議へのご参加、誠にありがとうございました。。

以上